

2018年度 応用マクロ経済学2 b 宿題

専修大学経済学部（担当：奴田原健悟）

注意事項（必ず読むこと）

1. 成績は試験のみを用いて判断するため、宿題の提出は不要である。ただし、この宿題も試験範囲とするため、試験前に問題に目を通しておくことを強く勧める。
2. 宿題の問題に関する質問は、オフィスアワー（火曜昼休み@ 8416 研究室）、授業の前後、およびメールで受け付ける。また、問題に関して訂正がある場合は、コースのウェブサイトで連絡するので適宜参照すること。
(ウェブサイト) <http://www.kengonutahara.com/teaching/>



以下の問題はとくに断りが無い限り、途中の考え方や途中の式もきちんと書くこと。

問題 1 : 教科書の問題

教科書の以下の問題を解答しなさい

1. 『マンキューマクロ I・入門篇』の第 5 章の復習問題 3
2. 『マンキューマクロ I・入門篇』の第 10 章の復習問題 1, 2, 3
3. 『マンキューマクロ II・応用篇』の第 5 章の復習問題 1

問題 2 : 開放経済

1. 「小国」と「完全な資本移動」とは何か説明せよ。またこのとき、世界の実質利子率と自国の実質利子率の関係がどうなるか説明せよ。
- 2.

問題 3 : 開放経済での政策の効果

以下の問いに答えよ。但し、本問に限り理由の説明などはいらない。

1. 長期の小国開放経済モデルで政府購入を増加させると、消費・投資・所得・純輸出はそれぞれどう変化するか？(増加する or 減少する or 変化しない)
2. 長期の小国開放経済モデルで減税をすると、消費・投資・所得・純輸出はそれぞれどう変化するか？(増加する or 減少する or 変化しない)
3. 長期の小国開放経済モデルで金融緩和をすると、消費・投資・所得・純輸出はそれぞれどう変化するか？(増加する or 減少する or 変化しない)
4. 長期の小国開放経済モデルで外国が財政政策を行い、世界の実質利子率が上昇すると、消費・投資・所得・純輸出はそれぞれどう変化するか？(増加する or 減少する or 変化しない)
5. マンデル・フレミングモデルで政府購入を増加させると、消費・投資・所得・純輸出はそれぞれどう変化するか？(増加する or 減少する or 変化しない) 変動為替レート制と固定為替レート制のそれぞれで答えること。

6. マンデル・フレミングモデルで減税をすると、消費・投資・所得・純輸出はそれぞれどう変化するか? (増加する or 減少する or 変化しない) 変動為替レート制と固定為替レート制のそれぞれで答えること。
7. マンデル・フレミングモデルで金融緩和をすると、消費・投資・所得・純輸出はそれぞれどう変化するか? (増加する or 減少する or 変化しない) 変動為替レート制と固定為替レート制のそれぞれで答えること。
8. マンデル・フレミングモデルで輸入制限をすると、消費・投資・所得・純輸出はそれぞれどう変化するか? (増加する or 減少する or 変化しない) 変動為替レート制と固定為替レート制のそれぞれで答えること。
9. マンデル・フレミングモデルで外国が財政政策を行い、世界の実質利子率が上昇すると、消費・投資・所得・純輸出はそれぞれどう変化するか? (増加する or 減少する or 変化しない) 変動為替レート制と固定為替レート制のそれぞれで答えること。

問題 4 : 経済成長

1. 「規模に関して収穫一定」とは何か説明せよ。
2. 「労働の限界生産逓減の法則」とは何か説明せよ。
3. ある国では 2012 年に GDP が 5% 成長した。その間に資本ストックは 1% 増加し、人口は 3% 増加した。資本分配率を 0.3 とすると、TFP 成長率はいくらか。
4. 東アジア諸国は第 2 次大戦後他の地域と比べて高い経済成長率を誇ったため、世界銀行は「東アジアの奇跡」と評した。しかし、プリンストン大学教授ポール・クルーグマンは『幻の「東アジアの奇跡」』という論文を発表し、東アジア諸国の高い経済成長率は持続しないと考えた。これはなぜか説明せよ。

問題 5 : ソロー・モデル

技術進歩と人口成長率があるソローモデルを考える。効率労働一単位当たり生産関数を $y = f(k)$, 貯蓄率 s , 資本減耗率 δ , 人口成長率 n , 技術進歩率 g として、以下の問いに答えよ。

1. 効率労働一単位当たり資本の変化 Δk を k を使った式で表せ。
($\Delta k = \dots$ の形で書け)
2. いま効率労働一単位当たり生産関数を $y = k^{1/2}$, $\delta = 0.1$, $n = 0.02$, $s = 0.2$, $g = 0.02$ のとき、定常状態の効率労働一単位当たり資本ストック量 k^* を求めよ。ま

た, 定常状態での国民所得 Y の成長率を求めよ. (効率労働一単位当たり生産 y ではないことに注意)

3. 貯蓄率 s が上昇したとき, 効率労働一単位当たり資本 k , 効率労働一単位当たり生産 y の定常状態がどう変化するか.
4. 人口成長率 n が増加したとき, 効率労働一単位当たり資本 k , 効率労働一単位当たり生産 y の定常状態がどう変化するか.
5. 技術成長率 g が増加したとき, 効率労働一単位当たり資本 k , 効率労働一単位当たり生産 y の定常状態がどう変化するか.
6. 定常状態の資本の限界生産 MPK が 0.15 で, $s = 0.2$, $\delta = 0.1$, $n = 0.02$, $g = 0.05$ だったとする. このとき, 貯蓄率は黄金律のときに比べて高すぎるか低すぎるか?

問題 6 : IS-MP モデル

IS-MP モデルにおける以下の変化の影響を答えよ. また, 本問に限り理由の説明などはいらない.

1. IS-MP モデルで政府購入を増加させると, 消費・投資・所得はそれぞれどう変化するか? (増加する or 減少する or 変化しない)
2. IS-MP モデルで減税を行うと, 消費・投資・所得はそれぞれどう変化するか? (増加する or 減少する or 変化しない)
3. IS-MP モデルで金融緩和を行うと, 消費・投資・所得はそれぞれどう変化するか? (増加する or 減少する or 変化しない)